

『多摩地域の雇用力と採用実態』(仮)

多摩大学 経営情報学部 酒井麻衣子

1. 背景

下記の問題意識のもと、「志企業研究会」における調査プロジェクトとして活動開始。

- ・新卒就職率の厳しさ

23年3月大学等卒業予定者の就職内定状況(2010年10月1日現在)：

大学(学部)は57.6%(昨年同期比4.9ポイント減)、短期大学は22.5%(同6.5ポイント減)、大学等(大学、短期大学、高等専門学校)全体では56.0%(同5.0ポイント減)、また専修学校を含めると54.0%(同5.1ポイント減)。(文部科学省及び厚生労働省調べ)

- ・中小企業の採用難

不況で強まる学生の安定志向により、採用市場のミスマッチが発生

- ・多摩大生の多摩地域・中堅企業への就職の少なさ

2. 目的

多摩地域における企業の採用の実態とニーズ(採用ボリューム・条件、採用方法、求める人材スペック等)を把握することで、同地域の人材と地元企業の人材ニーズとのマッチングを図る方法を検討し、多摩地域の産業発展に貢献することを目的とする。

また多摩大学としては、多摩地域における新卒採用市場の規模、採用条件や人材スペックを把握することで、大学と同地域の新卒採用市場とをつなぐ方策を検討する材料とし、「就職に強い多摩大」の地域密着型出口戦略の一助とすることを目指す。

3. プロジェクト体制

以下の二者の包括的提携関係における共同研究プロジェクト。

ー多摩大学(経営情報学部および地域活性化マネジメントセンター)

浜田正幸(経営情報学部 就職委員会副委員長)、

松本祐一、酒井麻衣子(地域活性化マネジメントセンター委員)

ー多摩信用金庫 価値創造事業部

4. スケジュール

2010年9月：企業への事前ヒアリング(多摩大生入社実績のある多摩地域の企業5社ほど)

2010年10月~11月：調査内容の確定

2010年12月初旬：本調査の実施

2011年2月：特徴的企業のケーススタディ

2011年3月~4月：調査報告会

5. 多摩地域の基礎データ

<添付資料の詳細>

- ①「多摩の経済データ」(2010年11月):有効求人倍率、人口、倒産状況 等
- ②「多摩の景気」(2010年7~9月期):求人・求職のうごき
- ③「多摩の景気」(2009年4~6月期):特別調査「世界同時不況下における中小企業の雇用戦略」
- ④「多摩地区経済要覧」(2008年版):
 - 多摩地区の主要データ(世帯数、人口、事業所数、従業者数 等)
 - 多摩地区市町村別 事業所数の分布(2006年10月1日現在)
 - 多摩地区の市別 上場会社

6. 本調査の概要

(1) 対象企業

以下の産業大分類について、30名以上の従業員がいる企業。

E 建設業、F 製造業、H 情報通信業、I 運輸業、J 卸売・小売業、K 金融業、L 不動産業、
M 飲食店・宿泊業、N 医療・福祉、O 教育・学習支援業、P 複合サービス事業、Q サービス業

(A 農業、B 林業、C 漁業、D 鉱業、G 電気・ガス・熱・水道、R 公務 は対象外)

(2) 目標サンプル数

(1) に該当する 500 社。

(3) 調査方法

多摩信用金庫の営業が担当企業に回答を依頼して回収している定例調査と同時に実施。

(4) 調査時期

2010年11月20日~12月7日

(5) 調査内容

I. 会社の基本情報について

II. 採用状況について

III. 採用方法について

(1) 求人告知方法

(2) 正社員の選考方法

(3) 求める人材の能力・経験

(4) 求める人材の資質

(5) 求める人材像

IV. 正社員(新卒)の人材教育について

V. 今後の事業展開について

以上